



聯合

第三

三

八年八月廿四日

◎美術の秋（五）

「北村正信氏の「静寂」」

凡そ展覧會場の彫塑陳列をあの中階段から觀て感ずるところのものは唯だ恐ろしき許り^の裸形の混亂、狂騒さのみであらう、太き或は細き線と線との錯綜、そこにハーモニ^のはあるとしても何んとなく一種ザワメキを感じはしまいか、そこに寂を忍ばす爲めに一沫の静さを刷く爲めに審査員北村正信氏の「静寂」は生れた、四月より製作に掛り今は唯だ仕上げのみとなつた、大理石の素晴らしきもの、高さ四尺。

寫眞は

一、「静寂」製作の北村氏



聯合 寫眞 第五一六號 八月廿四日

◎海國日本豪華版

■大觀艦式豫行■

明廿五日を以て行はる。大觀艦式豫行は廿四日定刻横濱沖に於いて行はれた。百六十の豫艦の第一列より偉容を正して投描する裡を先導艦鳥海、續いて御召艦たる比叡、供奉艦は肅々として進航する、恰かも時を同じうして百八十の海軍機は一齊に空中大分列式を行ひ海國日本の誇る豪華版を展開した

寫眞は

- 一、先導艦鳥海より御召艦比叡を望む
- 一、本社機上より觀たる偉容

軍



聯合 寫眞 第三號 八月廿五日

◎帝國海の精銳四邊を壓す

↓輝く横濱灣頭の大觀艦式↓

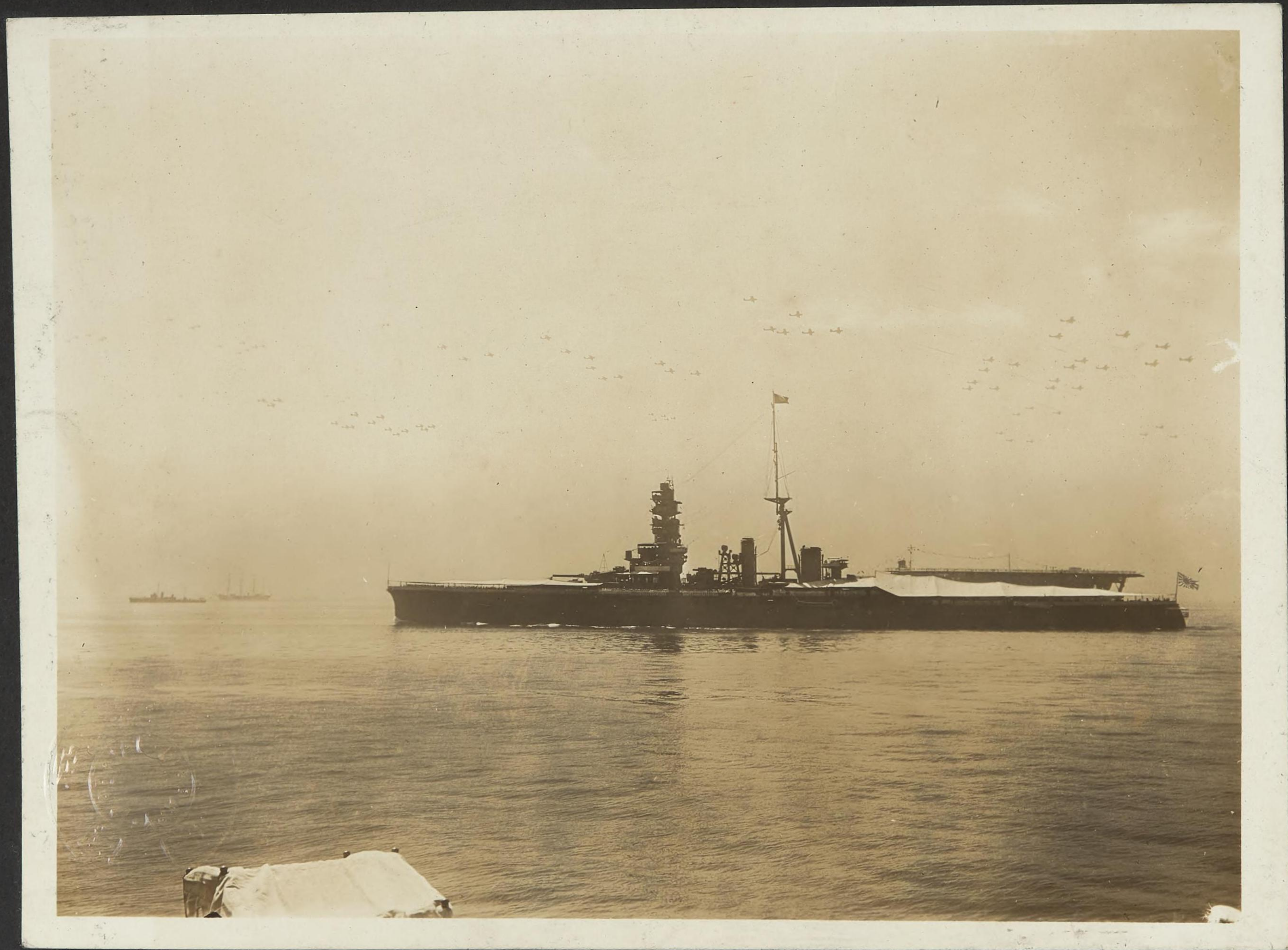
一、大元帥陛下御召艇へ（御先頭伏見軍令部長
宮殿下、大元帥陛下、鈴木侍從長）↓波止
場にて謹寫

一、轟く皇禮砲

一、艦列の間を進むお召艦比叡の雄姿

一、陪觀の各宮殿下↓（以上陸奥艦上にて）

一、拜觀の群集↓山手信號所附近



車轉之白王禮疏





聯合

寫眞ニユース

八月廿六日

(海軍省御貸下)

一、御召艦比叡前艦橋玉座にて御親閲中の陛下
並に皇族殿下

(小林觀艦式指揮官奏上、本庄武官長扈從)

一、御召艦式場に進む

(分列式中の海軍機上より拜寫)



御召艦式場に進む



聯合

寫眞 第一號

八月廿七日

◎美術の秋（完）

1 北村西望氏の「拳闘」

昨年「砲丸投げ」のモデル佐藤東洋君は今年も亦北村西望氏の「拳闘」に依つて彼の本業として彼の男性美を遺憾なく發揮させて貰つてゐる。隆々たる肉体、闘志に燃へたボクサーの面目、誠に躍如たるものがある

寫眞は

1 北村西望氏の「拳闘」



此の像は、
昭和十一年
一月二十一日
に完成した
ものである。
（以下略）

聯合 寫眞ニユース 第二號 八月二十七日

◎川島芳子歸る

去る七月十四日入京した川島芳子嬢は本日午後三時五十分東京驛發列車で退京途中熱海に一泊の上神戸に向ひ歸國する筈

寫眞は

東京驛出發の川島芳子



聯合 寫眞 第三號 八年八月廿八日

◎非常時日本は産業の發展から

今廿八日から工場體育デー

「非常時日本は産業の發展から」をモットーに警視廳保安部工場課では管下各種工場の能率増進、健康保持の爲に種々各方面と協力具體的施設の實現に努めてゐるがその具體的な第一歩として先ず今二十八日より九月中を工場體育デーとし各工場に於る體育を獎勵、工場衛生の發達と職工の健康増進を計ることになつた

寫眞は鐘ヶ淵紡績女工さんの健康獲得體操

1914



聯合 寫眞 第一號 八年八月廿九日

◎政友五大國策を提示

首相總裁の會見

鈴木政友會總裁は過般首相の來訪を受けた答禮の形式に於て廿九日午前八時五十五分四谷仲町の自邸に齋藤總理を訪問、國策協定に關する第二次會見が行はれた、即ち劈頭鈴木總裁から答禮の挨拶を述べたる後外交問題、日滿問題、經濟及び産業問題、行政改革、財政問題の五大綱に關する國策要綱を提示しその實行を力説高調したが之に對しては總理は明白なる答辯を避け會談四十分にして同九時半會見を終つた

寫眞は

一、首相鈴木總裁再度の會見



合 寫眞 第二號 八月廿九日

◎震災十周年「(一)」

都心霞ヶ關の官廳街

五十億の財産と二十萬の尊き人命を奪ひ一夜にして帝都を焦土と化した彼の大震災も星霜茲に十閱年。四百萬市民の絶えざる努力と全國的の後援に依つて來る九月一日の十周年を迎ふるに當り眞に復興更生の大帝都に恥ぢざる建設は成就した。その一に霞ヶ關の官廳街を持つて來る。此地は災禍には遭はなかつたが震災に依る當然の結果として新議事堂を中心各官廳は一齊に茲に集中され丸の内日本橋京橋方面の商業中心地に對し當然政治的の樞を司るべき重要地點。蓋し更生の新東京の面目は茲にある

寫眞は

一、櫻田門より觀た官廳街（新議事堂附近）

（以下數日に亘り連續的に發送の豫定であります）

1884



聯合 寫眞 第二號 八年八月卅日

◎杉村公使を支那へ派遣

前國際聯盟事務局次長杉村陽太郎公使に對し
内田外相は卅日附をもつて滿洲國及中華民國
へ出張を命じた。杉村公使今回の出張は東洋
の事態に對する認識擴充のためで表面公式使
命を帯びざるものであるが事實は内田外相よ
り現下の對支政策打開のため特に公使の蹶起
を促したもので公使は九月十日東京出發先づ
滿洲に赴きそれより北支中支南支と約二ヶ月
半の豫定で各地を通歴する筈である

寫眞は

一 近く渡支の杉村陽太郎博士

1912



聯合 海外寫眞

第二九五—六號

八月三十一日

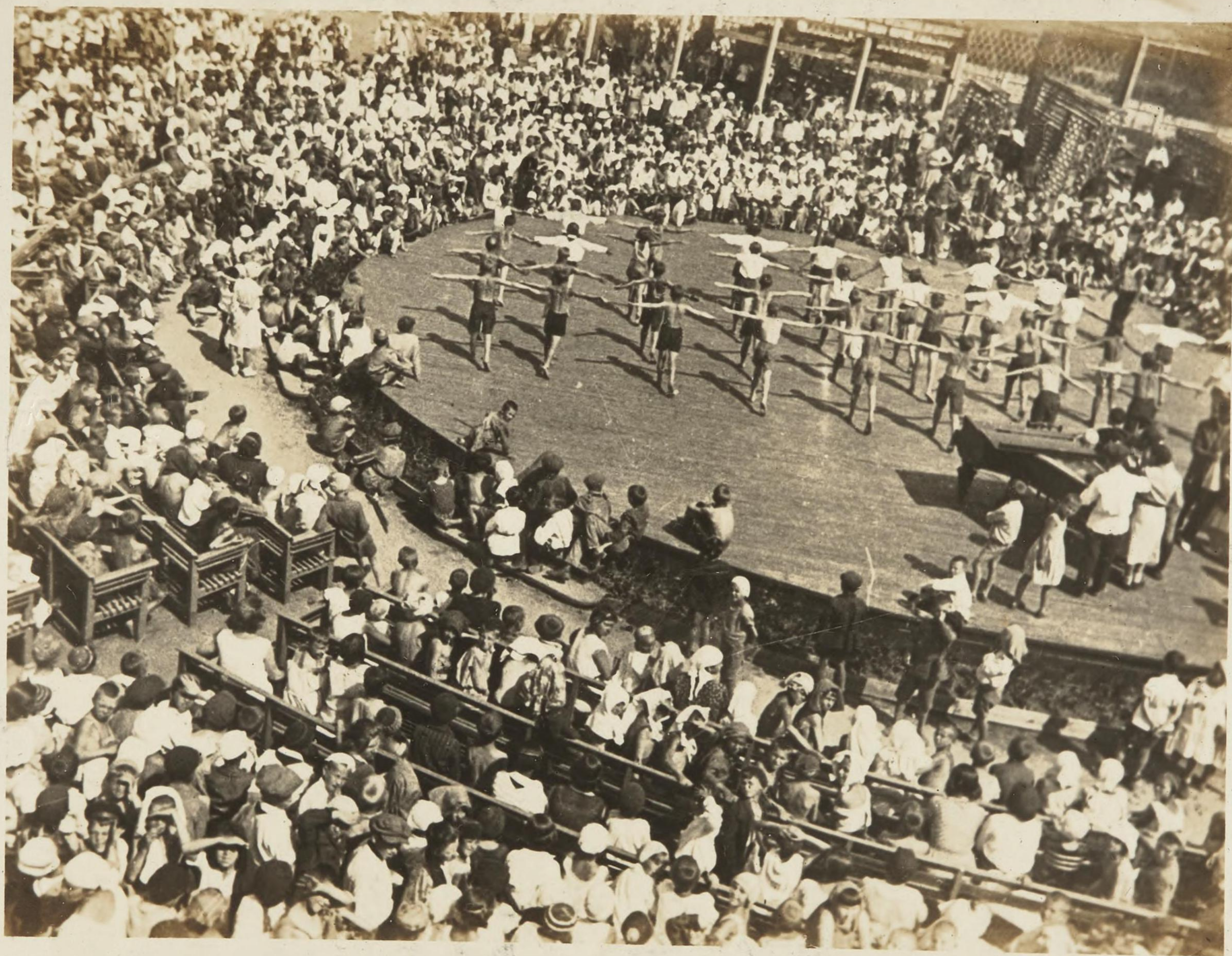
◎ソヴイェト十年記念子供祭

(モスコイ)發聯合

七月六日ソヴイェトロシヤではモスコイ動物園で建國十周年記念子供祭を開催した、集るもの約四千人祭壇には流石にソ國らしくレニンの胸像を左右にはレニン、スターリンク像を飾り、嚴かな司會式後假裝行列其他の餘興に移つた

寫眞は

一、モスコイの子供祭



聯合 寫眞 第三號 八月三十日

◎震災十周年(一)(二)

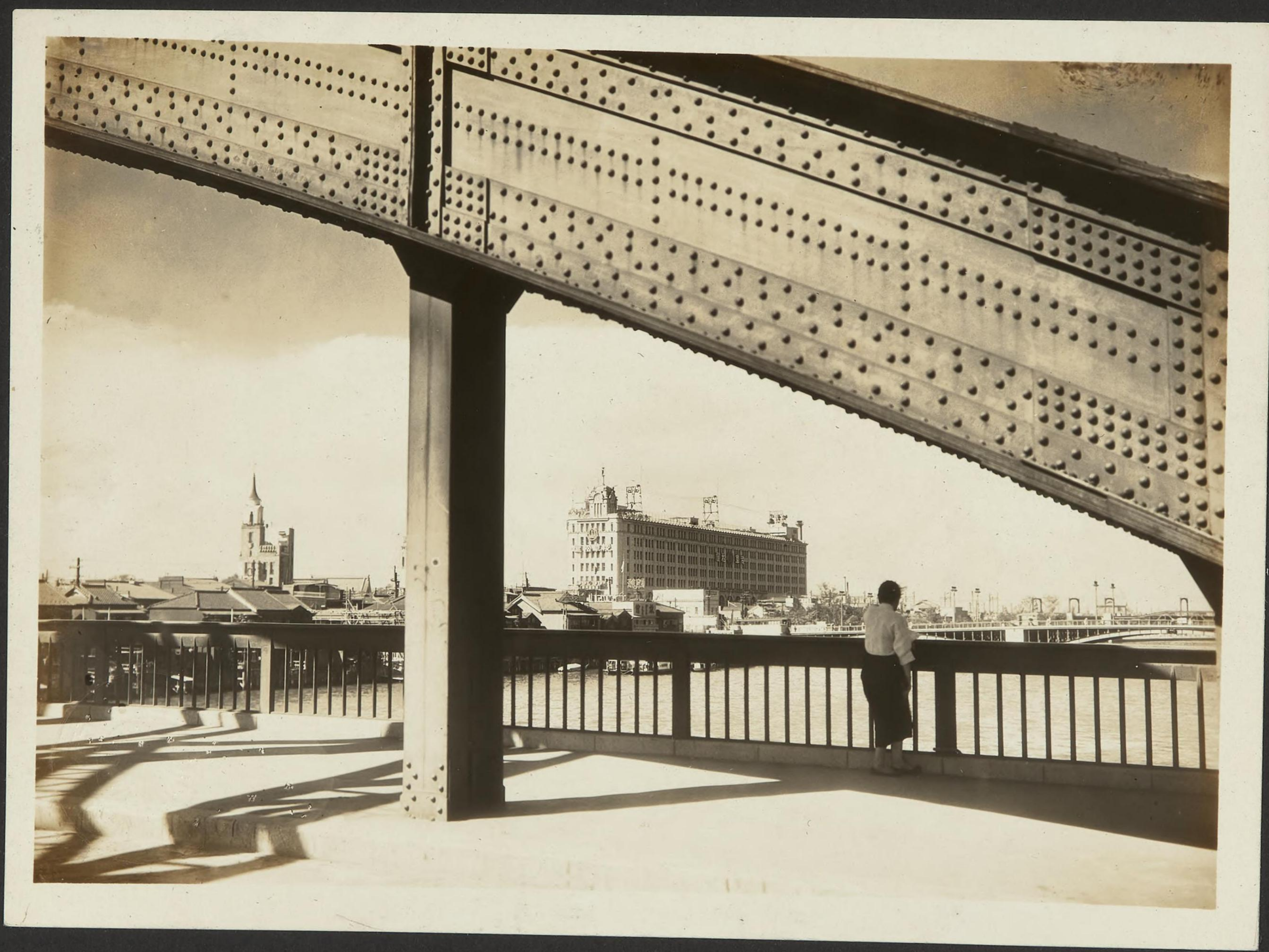
一 歡樂境淺草公園

「アレ鳥が鳴く」唄に名所のすみだ川、「忘れねばこそ思ひ出さぬ」駒形のほとり、「月に風情の待乳山、墨客文人杖を曳くこと四時絶えぬ、アノ向島、時と共に滅び行く大江戸の情緒」、それもこれも一瞬の震災に依つて今は唯だ廣に殘された浮世繪に忍ばるゝばかり、東京市の誇る隅田架橋は建設に、モデルに進代の粹を盡し、墨水の兩堤は名も散歩道なんど、嚴めしくコンクリートを張つた、數百万金を投じた觀音の大伽藍に對するに地下鐵ビルと稱する八階建、雷門驛の大ビル、其角翁をして「三周」の一句あらしめたし、

寫眞は

一 駒形橋より地下鐵ビル、松屋等を望む

Small decorative label or stamp on the left edge of the page.



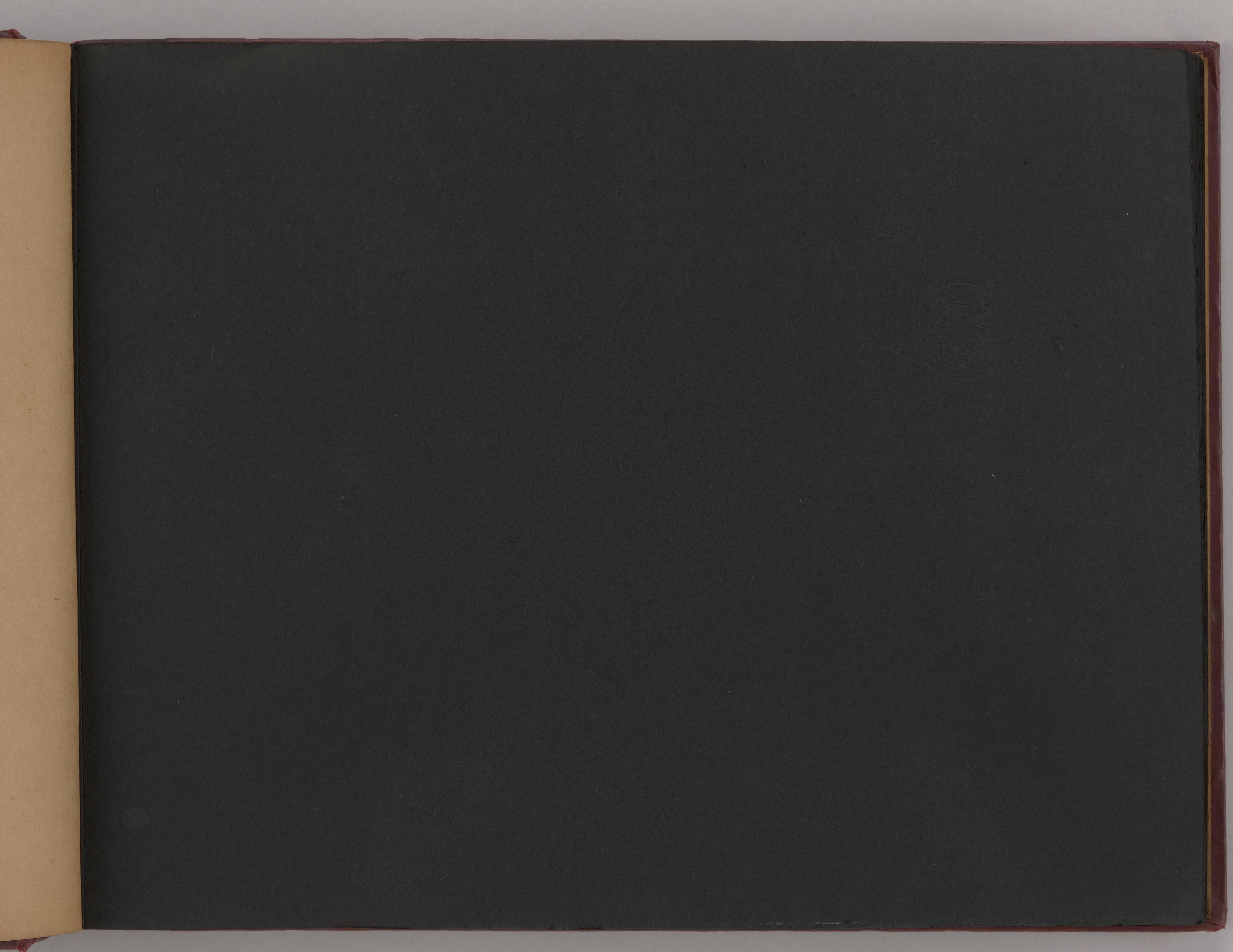
◎震災十周年(三)

一 苦心の街、丸の内附近

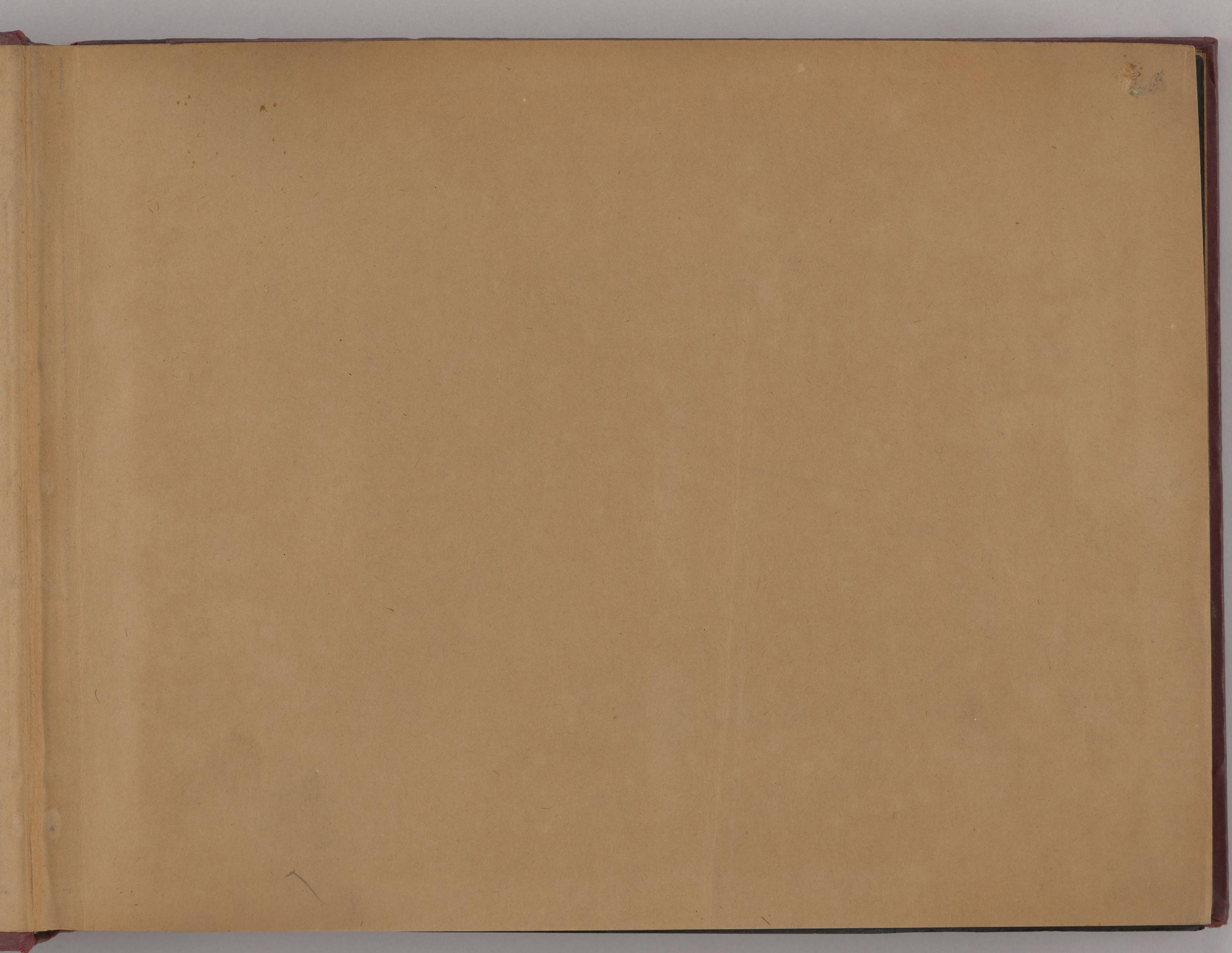
皇居を巡る緑の壕の水は靜かに澄んで居る、
參々たる老松は之れに影を寫してそれは和やかな風景だ、壕に並行して通ずる軌道の端の空にはニコライ堂のドームが浮かぶ、右へ眼を轉ずると其處は大都會の息を吐く所謂ビル街、丸の内、帝劇では「ビル萬歳」、東京會館、郵船ビル、更に右へ丸ビル、中央郵便局、東京驛のドームも見へる、右端の高塔はデパート三越、歡樂境、金融の渦卷、八萬の人を吞吐する東京の大玄關、犯罪、犯罪、息ぐさき都會獸の棲息地、内面をえぐるメスは如上の事實を剔抉するけれども九月の光のさんさんと降り注ぐ都會は丸の内のビル街はさながら無心である
寫眞は
一 無心の都市、丸の内のビル街

Small decorative stamp or label in the top left corner of the page, featuring a red border and some illegible text.

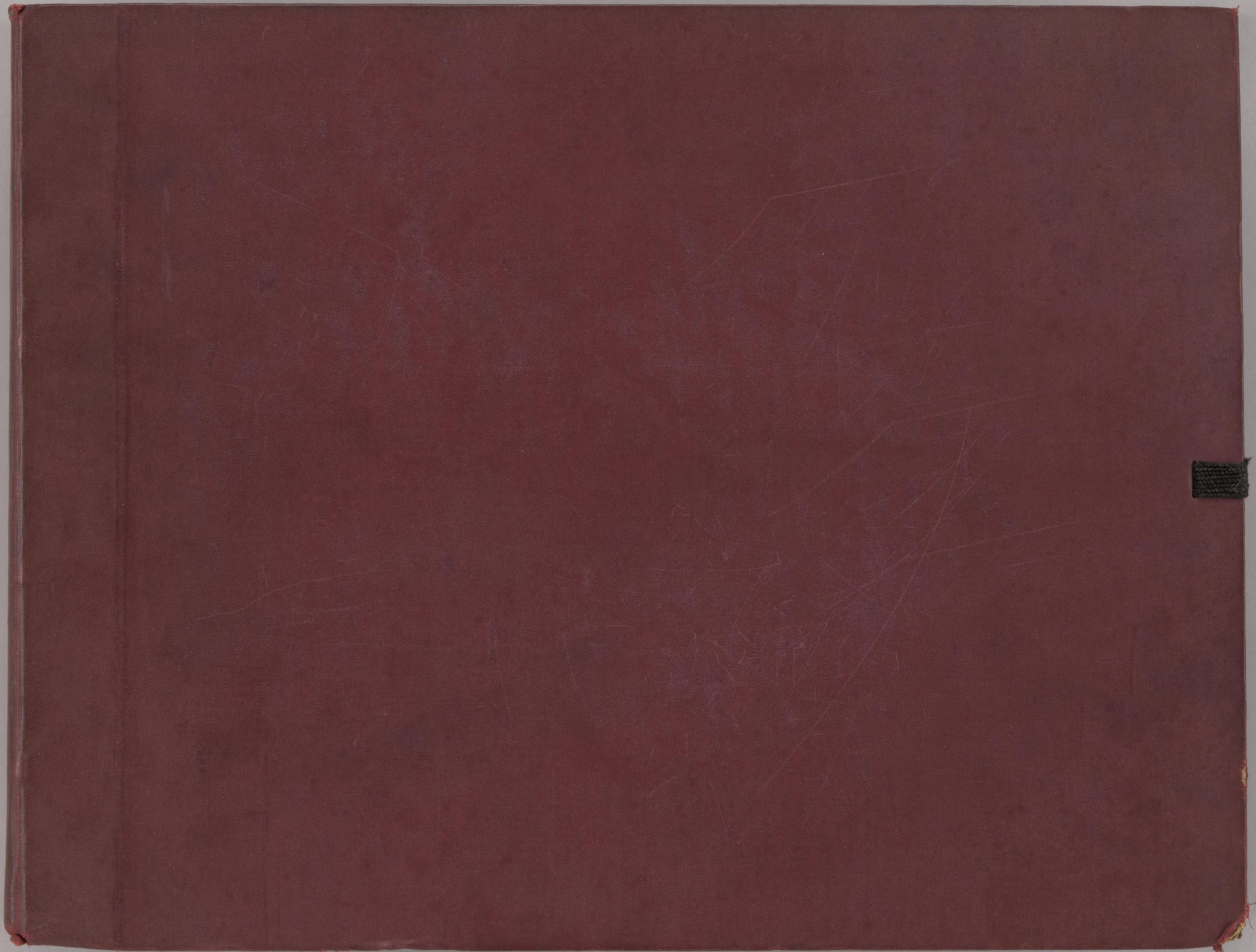








53
52

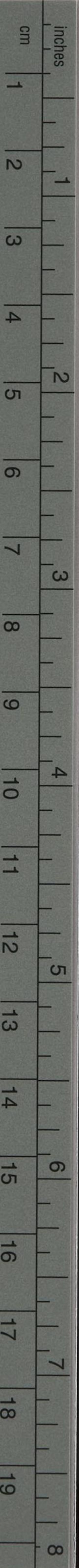


Kodak Gray Scale

A 1 2 3 4 5 6 **M** 8 9 10 11 12 13 14 15 **B** 17 18 19



© Kodak, 2007 TM: Kodak



Kodak Color Control Patches

Blue	Cyan	Green	Yellow	Red	Magenta	White	3/Color	Black

© Kodak, 2007 TM: Kodak